【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【公開番号】特開2000-190631(P2000-190631A)
【公開日】平成12年7月11日(2000.7.11)
【出願番号】特願平10-376924
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｍ　5/00　(2006.01)
Ｂ４１Ｍ　5/50　(2006.01)
Ｂ４１Ｍ　5/52　(2006.01)
Ｂ３２Ｂ　27/00　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　2/01　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｍ　5/00　Ｂ
Ｂ３２Ｂ　27/00　Ｆ
Ｂ４１Ｊ　3/04　１０１Ｙ

【手続補正書】
【提出日】平成17年12月16日(2005.12.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】 表面粗さがＪＩＳＢ０６０１における表面の中心線平均粗さで０．２０μｍ以下の基材上に少なくとも一層以上の無機顔料及び高分子バインダーからなるインク受容層及び、無機顔料及び高分子バインダーからなる表面反射低減層を順次積層してなり、前記表面反射低減層が表面上にゲル状突起を散在してなることを特徴とする被記録媒体。
【請求項２】 前記ゲル状突起の平均高さが０．０５～１．０μｍ且つ、分布率が１０～７０％であることを特徴とする請求項１に記載の被記録媒体。
【請求項３】 前記表面反射低減層の厚みが０．１μｍ～１０μｍの範囲にあることを特徴とする請求項１に記載の被記録媒体。
【請求項４】 前記被記録媒体の６０度鏡面光沢度が３０～６０％の範囲にあることを特徴とする請求項１に記載の被記録媒体。
【請求項５】 前記インク受容層のイオン性がカチオン性で且つ、前記表面反射低減層のイオン性がアニオン性であることを特徴とする請求項１に記載の被記録媒体。
【請求項６】 前記インク受容層中に少なくともカチオン性無機顔料もしくはカチオン性高分子バインダーを含有することを特徴とする請求項５に記載の被記録媒体。
【請求項７】 前記表面反射低減層中に少なくともアニオン性無機顔料もしくはアルコール分散可能なアニオン性高分子バインダーを含有することを特徴とする請求項５に記載の被記録媒体。
【請求項８】 前記インク受容層のイオン性がアニオン性で且つ、前記表面反射低減層のイオン性がカチオン性であることを特徴とする請求項１に記載の被記録媒体。
【請求項９】 前記インク受容層中には少なくともアニオン性無機顔料もしくはアニオン性高分子バインダーを含有することを特徴とする請求項８に記載の被記録媒体。
【請求項１０】 前記表面反射低減層中に少なくともカチオン性無機顔料もしくはアルコール分散可能なカチオン性高分子バインダーを含有することを特徴とする請求項８に記載の被記録媒体。

【請求項１１】 前記アルコール分散可能な高分子バインダーの分子量が４０００～１５０００の範囲にあることを特徴とする請求項７または１０に記載の被記録媒体。
【請求項１２】 前記アルコール分散可能な高分子バインダーのガラス転移温度が５０～１２０℃の範囲にあることを特徴とする請求項７または１０に記載の被記録媒体。
【請求項１３】 前記アルコール分散可能な高分子バインダーの平均粒子径が１０～５００ｎｍの範囲にあることを特徴とする請求項７または１０に記載の被記録媒体。
【請求項１４】 表面粗さがＪＩＳＢ０６０１における表面の中心線平均粗さで０．２０μｍ以下の基材上に、インク受容層を形成後、該インク受容層のイオン性と相反するイオン性の表面反射低減層を形成することを特徴とする被記録媒体の製造方法。
【請求項１５】 インク受容層を少なくとも一種類以上のカチオン性物質を含む塗工液を塗布形成した後、表面反射発現層をゲル化剤を含まず、少なくとも一種類以上のアニオン性物質を含む塗工液を塗布形成することを特徴とする請求項１４に記載の被記録媒体の製造方法。
【請求項１６】 インク受容層を少なくとも一種類以上のアニオン性物質を含む塗工液を塗布形成した後、表面反射発現層をゲル化剤を含まず、少なくとも一種類以上のカチオン性物質を含む塗工液を塗布形成することを特徴とする請求項１４に記載の被記録媒体の製造方法。